

第138回LC研究懇談会

日時: 1999年12月1日(水) 13時~17時40分

会場: [東京理科大学記念講堂\(1号館、17階\)](#)

[東京都新宿区市谷田町3-21-6、電話:03-3260-4271、交通:JR総武線「飯田橋」駅下車 徒歩4分]

講演主題: コンビナトリアルケミストリーとHPLC, 現状と今後の展望

講演

1. 講演主題概説 (13:00~13:05)

(東京化成工業(株)クロマト事業部)井上 剛史

2. コンビナトリアルケミストリーとHPLCの最近の動向 (13:05~13:50)

(東京工業大学工学部)高橋 孝志

3. 企業におけるコンビナトリアルケミストリー (13:50~14:35)

(三共(株)活性物質研究所)
成戸 俊二

4. HTSのための96Well Plate型固相抽出プレートの紹介 (14:35~14:55)

(ジーエルサイエンス(株)営業技術部)古庄 義明

5. 多数サンプルの処理に適した高速選択精製確認システム (14:55~15:15)

((株)日立製作所計測器グループ)永井 伸治

6. コンビケムスクリーニングに適したLC/MSシステムとは (15:30~15:50)

(横河アナリティカルシステムズ(株)マーケティング部)遠藤 邦彦

7. コンビケムライブラリの物理化学的検定のための分取LC-MS (15:50~16:10)

((株)島津製作所分析機器事業部)八巻 聡

8. コンビケム用高速分離カラムDevelosil Combi-RPの特性 (16:10~16:30)

(野村化学(株)開発部)長江 徳和

9. Highthroughputカラムの探索と創製 (16:30~16:50)

((株)ワイエムシイ京都研究所)栗山 尚浩

10. コンビケム用超高速分析カラムの特性 (16:30~16:50)

(東京化成工業(株)クロマト事業部)井上 剛史

11. コンビナトリアルケミストリーにおけるHPLCの可能性 (17:10~17:40)

参加費(含講演資料集代)

LC研究懇談会会員:1,000円、分析化学会・共催学会会員:2,000円、その他:3,000円(当日受付にてお支払い下さい)、学生は無料。
共催学会等:日本化学会, 日本薬学会

カタログ展示

1小間:5,000円(場所スペースは運営委員に一任させていただきます)

懇親会

講演終了後、講演終了後、講師を囲んで「**忘年会**」を開催します。会費 :2,000円

申込方法

参加希望者は、別紙の参加申込書([ここをクリックして](#)現れるページをプリントアウトしてご使用下さい)にご記入のうえ、FAXにより又は郵便によりお申し込み下さい(定員をオーバーした場合のみご連絡します。)

申込先

郵便番号141 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号
(社)日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会
[電話:03-5487-2790、FAX:03-3490-3572]

[LC研究懇談会情報ページへ戻る。](#)